

## 令和3年度熊本県立大学教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】方言を見つめる視点		
開設日	8月20日(金)	講習コード	令03-20086-503615号
担当者名	小川 晋史 准教授	会場名	グローバルセンター 201教室
	米谷 隆史 教授	受講対象者	教諭一般
		時間数	6時間
		受講定員	30名
		対象職種	教諭
<b>講習の到達目標：</b> ① 身近な九州、熊本の方言の特徴的な表現についてどのように分析できるのか、そして、世代間でどのような変化が起きているのかを知ることを目標とします。 ② 江戸時代までの九州、熊本方言の姿はどのような文献から窺われるのか、また、それらの文献はなぜ方言を記録したのか（或いは、してしまったのか）を知ることを目標とします。			
<b>講習の概要：</b> ① 担当：小川 晋史 まず、方言にみられる特徴的な表現について、どのような使用条件を持つのかなど日本語学（言語学）的な観点から考察します。次に、方言の世代差について、現在進行形で方言に起きている変化を追います。講義全体として、ここ10年の間に学会でも知られるようになったような、比較的新しい内容について受講者の皆さんが知る機会になればと考えています。  ② 担当：米谷 隆史 まず、九州、熊本方言史を語る上での定番となっている、キリシタン資料、『夏山雑談』（小野高尚）、『玉勝間』（本居宣長）、『菊池俗言考』（永田直行）の記述を確認します。その上で、これまであまり取り上げられてこなかったイロハ分類体辞書や浄土真宗の説教資料、料理書、随筆等に見える方言記述を取り上げ、各々の書物が方言を記すに至った背景を考えていきます。			
<b>評価の方法：</b> 筆記による試験（60分）の成績に、講習中のコメント等を加算して評価します。			
<b>受講希望者への事前連絡：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記概要欄に記した内容に関心のない方の受講はお勧めしません。</li> <li>・②の説明には、高等学校での学習内容程度の古文に関する知識を用いるところがあります。</li> </ul>			

# タイムテーブル

開設講習名：【選択】方言を見つめる視点

開設日：8月20日(金)

講習時間等	内容等	担当教員名
8:30 ~ 8:50 ( 20分 )	( 受付 )	事務局
8:50 ~ 9:00 ( 10分 )	(オリエンテーション)	
9:00 ~ 10:15 ( 75分 )	語学分野1 前半	小川 晋史
10:15 ~ 10:25 ( 10分 )	( 休息 )	
10:25 ~ 11:40 ( 75分 )	語学分野1 後半	小川 晋史
11:40 ~ 12:40 ( 60分 )	( 昼食 )	
12:40 ~ 13:55 ( 75分 )	語学分野2 前半	米谷 隆史
13:55 ~ 14:05 ( 10分 )	( 休息 )	
14:05 ~ 15:20 ( 75分 )	語学分野2 後半	米谷 隆史
15:20 ~ 15:40 ( 20分 )	( 休息 )	
15:40 ~ 16:40 ( 60分 )	試験	小川 晋史
16:40 ~ 16:50 ( 10分 )	( 諸連絡 )	事務局

## 【留意事項】

特記事項なし